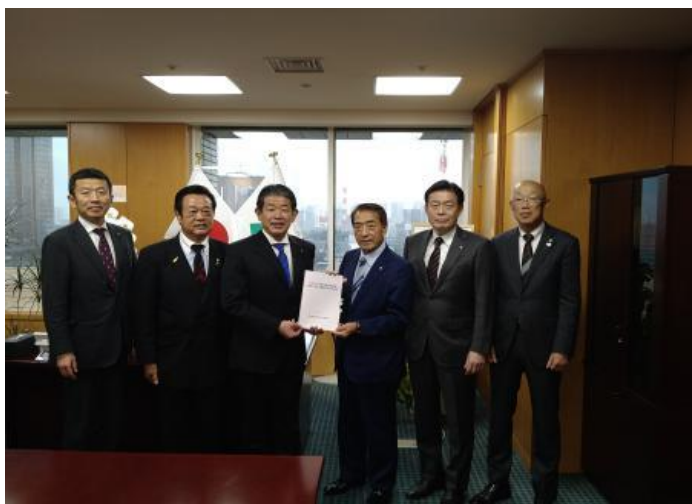


# 環境省・国土交通省 要望活動状況写真 (全国観光地所在町村協議会) 令和6年11月21日(木)



環境省  
五十嵐清 環境大臣政務官 (左から3番目)



国土交通省  
高橋克法 国土交通副大臣 (左から3番目)

## 要望事項

### 《要請者》

- ・村上英人会長 (宮城県蔵王町長)
- ・舟橋貴之副会長 (富山県立山町長)
- ・高橋周二常任理事 (熊本県南小国町長)
- ・平山幸宏常任理事 (栃木県那須町長)
- ・勝俣浩行理事 (神奈川県箱根町長)

### ○令和7年度観光地対策関係政府予算及び施策に関する要望

#### 【環境省】

#### 1 観光振興施策の推進・支援(温泉関係)

温泉は国民の療養、保養、休養等に広く利用されてきている貴重な自然資源であり観光資源であるため、温泉の保護対策を推進するとともに魅力ある温泉地づくりの取組みへの支援をお願いいたします。

#### 2 観光振興施策の推進・支援(国立公園関係)

国内旅行・インバウンドともに、観光需要が急速に回復するなか、国立公園等の滞在型・高付加価値観光を推進するとともに、プロモーション強化、多言語対応をはじめ、国内外からの来訪者増加による地域の観光振興・活性化を図るための施策を着実に推進いただきますようお願いいたします。

#### 3 観光基盤の整備促進等

登山道や山小屋トイレの整備等環境保全に資する事業や、廃屋撤去等利用拠点の景観改善に資する事業等に対して支援措置の強化をお願いいたします。特に、国立公園の山岳地には、かつて国や県が整備した登山道がありますが、山小屋のスタッフがボランティアで管理を行っているのが現状ですので、国際観光旅客税財源の用途の拡充も検討するなど、登山道の整備・維持管理に対する支援措置の強化をお願いいたします。

#### 【国土交通省】

#### 1 観光立国の実現(インバウンド関係)

現在、インバウンドが堅調に回復しておりますが、外国人延べ宿泊者数の約7割が三大都市圏に集中している状況にあります。インバウンドや国内交流の拡大による地方への誘客を促進するとともに、それぞれの地域が持続可能な観光地域づくりを実現できるよう、適切な措置を講じていただきたいと思います。

また、地方誘客を図りため、町村が行うプロモーションや物産品イベント等に対し、財政支援を強化していただきますようお願いいたします。